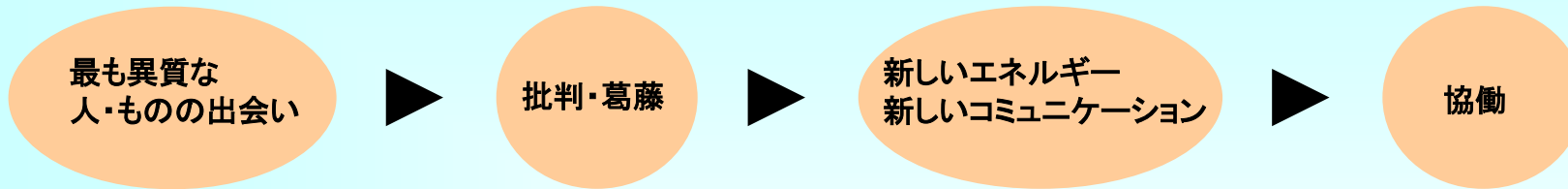
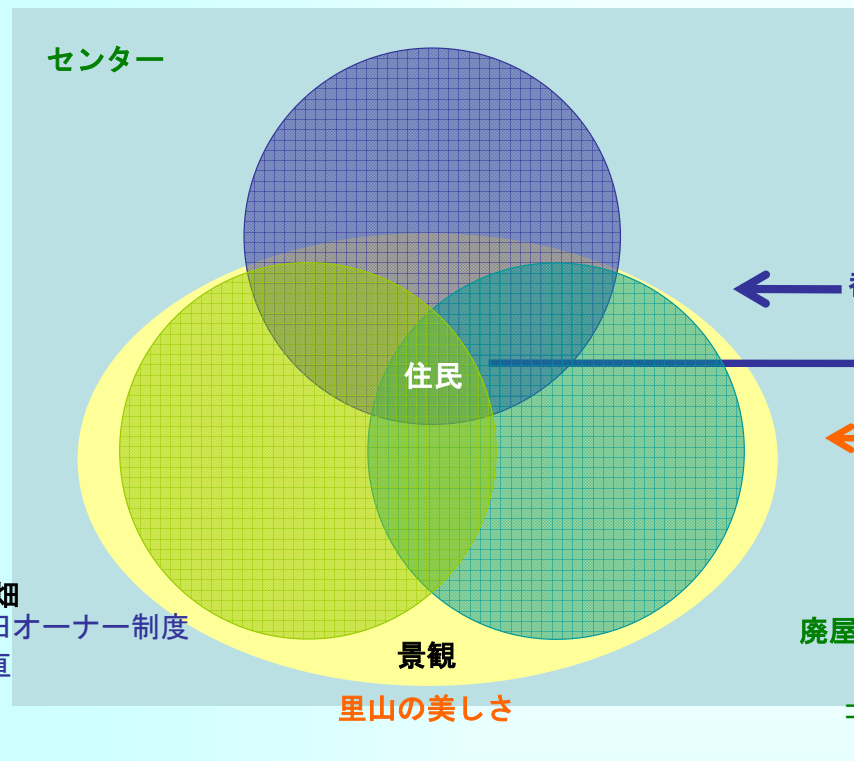


～世代、地域、ジャンルを超えた協働～



コミュニティ
活性化

- 第1、2回展サポーター数: 通算約1600人
- 関係諸外国
 韓国(安養市)、オーストラリア(アジアリンク)
 フランス(ナント市、パレ・ド・トーキョー)
 フィンランド(フィンランドセンター)、タイ
 イギリス(グライスデール・アーツ)、ノルウェー



- ← 都市との交換
 - ← 都市の協働者
 - ← アーティスト
 - ← サポーター
 - ← 来訪者
 - ← 行政
 - ← 廃屋オーナー
 - ← 専門家
 - ← 外国諸機関
- アート
家
廃屋再利用
CMOP
コミュニティ・ミュージアム・
オーナー・プロジェクト

第3回展の特徴
空家プロジェクト
華道家グループ
陶芸家グループ

田畑
棚田オーナー制度
産直

景観
里山の美しさ



2. 新しい道空間づくりを支援する法制度例

① 景観緑三法

■ 美しい景観・豊かな緑の形成を促進し、都市の再生や観光立国の実現などを目標として、定められた法律

景観に関する法整備



緑に関する法見直し



一体的な
効果の
発現

屋外広告に関する制度充実

全国各地で美しい景観・豊かな緑の形成を促進

観光立国の実現

地方都市再生

ヒートアイランド現象の緩和等

②観光活性化標識ガイドライン

■あらゆる観光客が安心して観光するための観光案内標識の整備を目標として、取りまとめられた。

観光活性化標識ガイドライン概要

～基本方針～

- メディア相互の補完
- 一貫した案内
- 案内標識の顕在化
- 地域特性に応じた観光情報の提供
- ユニバーサルデザインの考え方の導入



- 全ての利用者にとって分かりやすく、見やすい標識の作成
- 景観に配慮し、関係者が連携し最小限に設置する



基本的な情報だけを日本語と英語で併記した位置案内標識の例



景観に配慮した色彩で、地域内の観光に関する標識を統一し、識別性を高めた標識の例

3. 各地で始まっているシーニックバイウェイ

①シンポジウムを通じたシーニックバイウェイの展開

1. 開催概要

<開催日時・場所>

日時：平成17年12月6日(火) 13:30～16:00

場所：千代田放送会館

主催：国土交通省関東地方整備局

<参加者>

約200名

(一般市民、NPO、一般企業、行政)

<プログラム>

■取り組みの報告(約30分)

- ・日本・・・横田敏幸氏(国土交通省道路局沿道環境専門官)
- ・米国・・・ヘンリー・ハンカ氏

(米国シーニックバイウェイリソースセンター 特別プロジェクトマネージャー)

■パネルディスカッション(約105分)

パネリスト

- ・石田東生氏(筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)
- ・井上八千代氏(舞踏家)
- ・高谷弘志氏(東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議代表)
- ・谷口博昭氏(国土交通省道路局長)

コーディネーター

- ・横島庄治氏(NPO法人環境システム研究会理事長・元NHK解説主幹)

2. 背景と目的

<背景>

- ・アメリカでのシーニックバイウェイ活動の展開
※地域の観光振興・活性化を目的とした、道路及びその沿道空間の
景観・自然環境の整備を、住民、行政、NPOが一体となって取り組む活動
- ・日本でもH16年11月に景観法を制定

<目的>

- ・シーニックバイウェイの考え方の普及
- ・道をつかう市民の立場から、美しい道や地域作り
について討論

3. パネルディスカッション

「沿道景観とは何か～道から始める地域づくり～」

第1部 日本の道路景観／その実情と反省

- ・道と景観を考える上で日本が持つ特質
- ・かつての日本の「道と景観の美」
- ・アメリカシーニックバイウェイの6つの視点

第2部 道がつなぐ地域づくり／アメリカ・シーニック バイウェイの試み

- ・シーニックバイウェイと「暮らし」「歴史」「文化」
- ・道を軸としたコミュニティ形成、主役は住民

まとめ 日本のシーニックバイウェイ目指して

- ・日本型シーニックバイウェイへの展望

②震災復興と合わせたシーニックバイウェイの展開(北陸の取組み事例)

各種取組



「中越地震復興シーニックバイウェイフォーラム」の開催状況
(H17.4.26)



パンフレットの発行



ホームページの開設
<http://www.yorimichi.go.jp/>



第2回推進協議会の開催状況
(H17.11.21)

背景・経緯

1. 中越地震土木学会調査団から、「暮らしと風景の復旧には、シーニックバイウェイ事業等が必要」と緊急提言(H16.12.10)

2. 「中越地震復興シーニックバイウェイフォーラム」の開催(H17.4.26)

3. 「新潟県中越地震被災地の復興と活性化を支援する道路及び周辺施設のあり方に関する検討会」の開催(H17.9.13)

4. 「ふるさとニッポン・よりみち街道『中越』」プロジェクト始動第1回、第2回推進協議会を開催(H17.10.4 H17.11.21)

○会長：東京大学大学院 家田 仁 教授
委員：学識経験者、地域の代表、関係行政機関等

○分科会の設置
・よりみち街道の基本的考え方に関する分科会
・一般国道291号パイロット分科会
・よりみち街道「中越」クラブ設立・推進分科会

5. 今後の取り組み

過疎化が進む中山間地域の典型である中越地震の被災地域において、地域社会が将来に亘り発展できるよう、「道」の復旧を通じて、復興を支援できる具体策を来春を目途に提言する